

第1号議案

平成25年度 事業報告書

特定非営利活動法人

せき・まちづくり NPO ふうめらん

1. 事業実施の概略

特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ふうめらんは、法人第7期となる今年度、フリーマガジン事業、関市市民活動センター運営受託、多世代憩いの広場でらっこの3事業に加え、新規事業として「コミュニティブックカフェ『ブックエカ』」をはじめた。

7年間の活動で、関のまちづくりを担う市民が確実に増えつつあり、その人たちがつながり始めた実感を持っている。フリーマガジンや関市市民活動センター、関市まちづくり市民会議は、そういった人材を発掘する舞台となった。設立当初から「市民力を醸成する」ことをビジョンの一つに掲げて取組んで来たが、芽生えを感じる1年であった。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 関の魅力発掘・発信事業

①関・再発見フリーマガジンふうめらん発行事業

目的	関の魅力を関の人に知ってもらい、関を好きな人を増やす。
内容	ふうめらん第35号～40号を発刊 【媒体概要】 版型：B5 中綴じ 編成：カラー・特色1色混合 24頁 部数：20,000部 刊行：隔月（6月、8月、10月、12月、2月、4月発行） 【コンセプト】 ・市民を巻き込む体験型フリーマガジン（魅力を体感できる仕組みづくり） ・単なるクーポンマガジンではない（広告は全体の4割以下で読んで楽しく） ・作り手が楽しむ、顔の見える雑誌
実績	【発信した魅力】 第35号：関の木特集 第36号：関の縫製業特集 第37号：関の大学生特集 第38号：関の和牛特集 第39号：関で本と暮らす特集 第40号：学生に教えたいたい関のお店特集、板取移動販売車 【配布】 中日新聞販売店様が配布に協力

②多世代憩いの広場『てらっこ』事業

目的	古くから市民に愛されてきたお寺を活用し、地域（お年寄りも・父親も）で える場づくりを行う
日時	関善光寺：毎週火曜日、金曜日に開館 武芸川：武芸川老人福祉センター毎週月曜日、恵利寺：毎週水曜日 武儀（正栄寺）：毎週木曜日
内容	今年度は、武芸川老人福祉センター、武儀正栄寺での開館も行き、関市内で合 施した。 また、関善光寺では、茶屋にて、親子カフェをより収益的にも充実していくため、 の実施を行い、さらなる魅力づくりへ取組んだ。 ■ 関善光寺 【開館】火曜日、金曜日週 2 回 10 時～15 時 【場所】関善光寺内 ■ 武芸川恵利寺てらっこ 【開館】水曜日 10 時～14 時 【場所】恵利寺(関市武芸川跡部) ■ 武芸川老人福祉センターてらっこ 【開館】月曜日 10 時～14 時 【場所】武芸川老人福祉センター ■ 武儀てらっこ 【開館】木曜日 10 時～14 時 【場所】正栄寺 ■ てらっこ茶屋の運営 関善光寺では茶屋を運営した。 売上げ：523,355 円

③ ぎふローカル鉄道博覧会

目的	長良川鉄道の定期外乗客を増やす。長良川鉄道沿線の魅力を発掘
内容	岐阜県内四ローカル鉄道をつないだ岐阜県の事業「ぎふローカ 会」の長良川鉄道部分のコーディネートを行った。1ヶ月半の間 鉄道に関する様々な小規模な体験イベントを開催。 ■平成26年2月～3月 ■ ナガテツ沿線応援団で実施 ■ 実施プログラム数 20個（全体では55個） ■ 内容：当団体が実施したイベント ・ 沿線パワースポットを巡る旅（参加者7名/定員10人） ・ 昭和レトロを巡る旅（参加者18名/定員20人） ・ 列車で一箱古本市（参加者40名）

④ コミュニティブックカフェ『ブックエカ』

目的	本を通じたコミュニケーションがとれる場を作り出し、読書の充実により市民が自己実現、自己研鑽できる読書のまち関市を目指す
内容	<p>コミュニティブックカフェ「ブックエカ」を6月1日にオープンした。 営業時間：12時～20時 定休日：日曜、祝日、月曜定休 場所：ぶうめらん事務所 内容：</p> <p>■ 読書空間利用 利用料 500 円（高校生以下 300 円） ※本との出会いセットプレゼント</p> <p>①飲料1本 ②一口お菓子 ③ペーパーナフキン ④付箋1枚 ⑤エカおすすめ文庫1冊プレゼント</p> <p>■ 古本販売の実施</p> <p>■ 本棚プロデューサーについて 本棚1棚の担当をお任せし、テーマを自由に決めて、そのテーマに合う本を並べて頂きます。本の追加や入れ替えなど自由に行なっていただき、魅力的な陳列をお願いする</p> <p>■ 本と人をつなぐイベント「おんさったデイ」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鳥士郎トークライブ ・孫六座紙芝居 ・マビッシュ古本市(毎月第3土曜日に開) ・ブック交換会 ・ビブリオバトル(2回) <p>■ ブック基金の実施 市内のPTA、NPOを対象に市民から本の寄付を募り、その本をブックエカが買取。その金額を対象団体へ寄付する取り組み。 今年度は、旭ヶ丘小学校、田原小学校、桜ヶ丘小学校、NPO法人るは一ふ。NPO法人みつばちの家、てらっこで実施。</p>
実績	<p>1年間の売上げ 526,004 円 利用者：406 人 書籍売上げ：292,883 円(内 web207,283 円、web 以外 85,600 円)</p>

(4) 関におけるまちづくり団体同士の連携推進をする事業

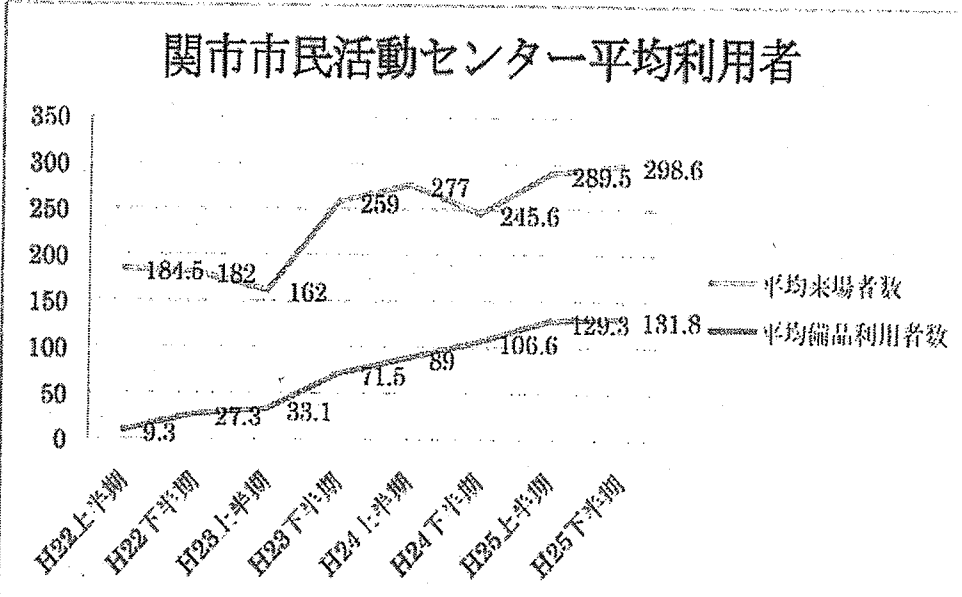
① 関市市民活動センター運営受託

目的	市民活動・地域活動のサポートによって市民の力を醸成することで、行政・企業・NPOの3つのセクターが協力したまちづくりの土壌の醸成をしていく。
内容	<p><運営方針4つの柱></p> <p>① 市民活動・ボランティアに対する、関市民へのすそ野を広げる</p> <p>② NPO法人だけではなく、自治会町内会等、地域活動もサポートし、地域型コミュニティ、テーマ型コミュニティが協働して地域社会の活性化を目指す</p> <p>③ 既存のボランティア活動支援との協働、行政・企業との協働支援</p> <p>④ センターへ人が集まる仕組みをつくる</p> <p>1. 市民活動にかかる情報の収集、提供に関する業務</p> <p>1) 関市内の市民活動団体の登録業務</p> <p>2) ホームページの充実</p> <p>3) 企業の市民活動応援団</p> <p>2. 相談業務</p> <p>3. 市民活動に係る調査研究及び普及啓発に関する業務</p> <p>1) 市民活動センター便りの発行</p> <p>2) 市民活動サロンの実施</p> <p>3) 自治会へのNPO普及活動</p> <p>4. 市民活動に係る人材育成、研修、交流に関する業務</p> <p>1) 市民活動の講座</p>

実績

【センター利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来場数	317	237	239	224	301	419
備品利用	184	126	88	105	124	149
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来場数	338	432	219	252	252	265
備品利用	134	224	83	96	122	248



【センター登録団体】
130団体（3月31日）現在

【相談件数（平成23年4月～平成24年3月）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談数	16団体	16団体	15団体	18団体	11団体	12団体

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談数	13団体	17団体	13団体	15団体	18団体	26団体

概要	市民活動団体、活動を始めたい個人に対する総合的な相談を行った。
主な相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金獲得について、助成金申請書アドバイスについて ・NPO法人の新規事業について ・NPO法人の設立相談 ・新たなボランティアを始めたい ・団体の組織運営について ・イベントや活動の広報PRについて等 ・こんな人を紹介してほしい ・団体の事業展開について

【イベント・講座の開催】

■週末プチイベントの開催

合計9回開催 述べ参加人数 204名

1) 講演会

地域委員会を考える勉強会第3弾 87名参加

9月8日 アピセ関 多目的ホール

第1部地域の自慢大会

- ・上之保ふれあいのまちづくり推進委員会「西国三十三観音石仏」
- ・田原ふれあいのまちづくり推進委員会「中学生が企画運営する『チャレンジ』」

・NPO法人日本平成村「福祉有償運送」

第2部講演会

講師：川北秀人

地域委員会から小規模多機能自治を進めよう

2) 研修会

内容	日時	場所	概要	参加人数
初めてのfacebook講座	5月11日	市民活動センター	講師：北村隆幸 Facebookの使い方を初歩から学ぶ	3名
ソーシャルメディアを市民活動に活かすセミナー	5月22日	わかくさ・プラザ	講師：北村隆幸 ソーシャルメディアを活かしかに市民活動が共感を得るか	10名
広報誌作成セミナー	2月2日	わかくさ・プラザ	講師：北村隆幸	16名

【地域団体サポート】

NPO法人だけではなく、地域のまちづくり委員会等、地域の団体を積極的にサポートしていくことで、地域の課題は地域で解決するまちをつくる。

【まちづくり市民会議】

関市のまちづくり施策について、市民が自ら考える「関市まちづくり市民会議」を開催。

“日本一しあわせなまち、関市”を市民の手でつくるため、関市の現状を学びながら、課題を見つけ、その解決方法などを考える。

【活動内容】

- ① 関市の課題を見つけ出します。(検討テーマの決定)
- ② 課題を解決する方法を考えます。(政策検討)
- ③ 報告書を作成し、発表します。(政策提言)

【委員構成】

まちづくり市民会議委員は、全員公募による市民で構成。委員は24人で、任期は、9月11日から平成25年9月30日までの約1年間。以後、1年を任期で新たな委員募集を行う。

【第2期部会】

- A：子どもの教育を考える
- B：まちづくり（議会・行政）への市民意識向上を考える
- C：地域（コミュニティ）のつながりから考える
- D：少子高齢化から夢のあるまちづくりを考える

法人名:

特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOぶうめらん

第2号議案

活動計算書

2013年 6月 1日 ~ 2014年 5月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
企業正会員受取会費	1,110,000		
企業賛助会員受取会費	400,000		
市民正会員受取会費	54,000		
市民賛助会員受取会費	18,000	1,582,000	✓
2. 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
3. 事業収益			
フリーマガジン事業収入	3,876,970		
調査研究・政策提言事業収入			
人材育成・コンサル事業収入	662,000		
市民活動センター事業収入	5,782,175		
ブックエカ事業収入	548,644		
てらっこ	5,834,440	16,704,229	✓
4. その他収益			
受取利息	494		
雑収入		494	✓
経常収益計			18,286,723
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	7,426,787		
人件費計	7,426,787	✓	
(2) その他経費			
会議費	4,230		
地代家賃	327,430		
賃借料	163,060		
消耗品費	590,269		
通信運搬費	331,184		
旅費交通費	158,243		
新聞図書費	34,880		
印刷製本費	3,433,210		
外注費	785,030		
事業支出	432,285		
諸謝金	418,200		
広告宣伝費	3,600		
研修費	1,500		
水道光熱費	138,034		
材料費	139,856		
租税公課	10,000		
仕入	15,461		
振込手数料	2,205		
その他経費計	6,988,677	✓	
事業費計		14,415,464	✓
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	237,643		
法定福利費	1,115,712		
人件費計	1,353,355	✓	
(2) その他経費			
通信費	187,258		

水道光熱費	204,909		
旅費交通費	137,920		
研修費	9,770		
会議費	48,000		
事務用消耗品費	147,812		
備品消耗品費	151,755		
新聞図書費	10,764		
印刷 経費	11,410		
修繕費	39,746		
地代家賃	732,000		
保険料	96,310		
租税公課	247,630		
諸会費	55,500		
慶弔費	16,000		
支払手数料	24,284		
雑費	87,916		
その他経費計	2,208,984		
管理費計		3,562,339	
経常費用計			17,977,803
当期正味財産増減額			308,920
前期繰越正味財産額			1,191,442
次期繰越正味財産額			1,500,362

財務諸表の注記

重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会公表)によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	フリーマガジン 事業	市民活動セ ンター	あつち事業	アトリエ	ブックエフ	活動	事業費計
(1) 人件費							
給料手当	502,461	3,595,540	2,838,826	143,560	346,400	-	7,426,787
人件費計	502,461	3,595,540	2,838,826	143,560	346,400		7,426,787
(2) その他経費							
会議費			4,230				4,230
地代家賃			327,430				327,430
賃借料		140,060		23,000			163,060
消耗品費	700	183,642	313,235		91,747	945	590,269
通信運搬費	167,300	156,248	1,270		6,366		331,184
旅費交通費	14,000	91,350	52,893				158,243
新聞図書費		34,880					34,880
印刷製本費	3,186,800	239,210			7,200		3,433,210
外注費	605,000	152,030	28,000				785,030
事業支出	15,915	213,000		200,000	3,370		432,285
諸謝金	32,000	150,000	225,200	5,000	6,000		418,200
広告宣伝費					3,600		3,600
研修費		1,500					1,500
水道光熱費		96,800	41,234				138,034
材料費			139,856				139,856
仕入					15,461		15,461
振込手数料		1,575	630				2,205
租税公課		10,000					10,000
その他経費計	4,021,715	1,460,295	1,133,978	228,000	133,744	945	6,988,677
事業費計	4,524,176	5,055,835	3,972,804	371,560	480,144	945	14,415,464

固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減価償却	期末取得価額	期末帳簿価額
デジタルカメラ	1		0	1	1
関市非公式キャラクターぶう	1		0	1	1
合 計	2	0	0	2	2

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特非) せき・まちづくりNPO.ぶうめらん
 全社

(単位)

平成26年 5月31日

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

事務所 28,500

市民活動センター 35,320

ブックエカ 20,000

普通預金

関信用金庫本店 360,824

ゆうちょ銀行 213,480

セ関信用金庫本店 637,108

茶屋関信用金庫本店 708,019

ブックエカ 19,999

現金・預金 計 2,023,250

(売上債権)

未収金 164,600

売上債権 計 164,600

(棚卸資産)

棚卸資産 42,510

棚卸資産 計 42,510

流動資産合計

2,230,3

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品 2

有形固定資産 計 2

固定資産合計

資産の部 合計

2,230,3

《負債の部》

【流動負債】

未払金 730,000

流動負債 計 730,0

負債の部 合計 730,0

正味財産 1,500,3

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(単位：円)

特非) せき・まちづくりNPOぶらめらん

平成26年 5月31日 現在

全社

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	730,000
現 金	83,820	流動負債 計	730,000
普通 預金	1,939,430	負債の部合計	730,000
現金・預金 計	2,023,250	正味財産の部	
(売上債権)		【正味財産】	
未 収 金	164,600	正味 財産	1,500,362
売上債権 計	164,600	(うち当期正味財産増加額)	308,920
(棚卸資産)		正味財産 計	1,500,362
棚卸 資産	42,510	正味財産の部合計	1,500,362
棚卸資産 計	42,510		
流動資産合計	2,230,360		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	2		
有形固定資産 計	2		
固定資産合計	2		
資産の部合計	2,230,362	負債・正味財産の部合計	2,230,362